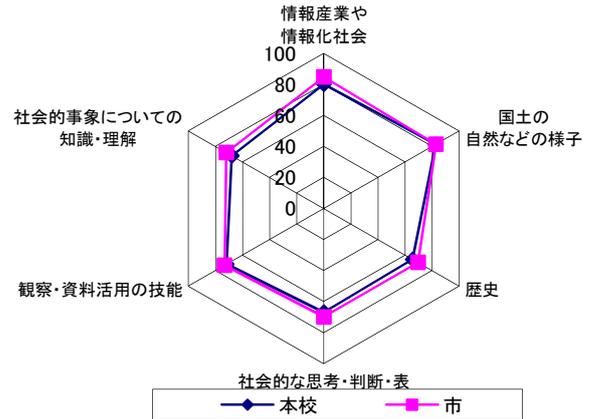


# 宇都宮市立海道小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	情報産業や情報化社会	80.0	84.7
	国土の自然などの様子	82.5	82.7
	歴史	65.6	69.5
観点別	社会的な思考・判断・表現	66.8	69.9
	観察・資料活用 of 技能	71.7	73.3
	社会的事象についての知識・理解	67.9	71.9



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
情報産業や情報化社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の平均正答率に対して本校の結果は4.7%下回った。80%の正答率は維持できたので、5年生の時にやった情報社会の復習がしっかりとされなかったことが原因と考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習に5年時の学習の復習も取り入れることで反復練習を行い、学んだ知識を維持させる。</li> <li>日常生活の中で、折にふれて情報に関する話題を取り上げ、学んだことを使って考えさせる訓練を積む。</li> </ul>
国土の自然などの様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の平均正答率に対して本校の結果は0.2%とわずかに下回った。資料を読み取る問題へのつまづきが結果に表れた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の中に地図帳や資料集を活用した指導をより多く行い、資料を読み取る力を養う。</li> <li>新聞等にまとめる学習に必ず資料やグラフを取り入れさせ、活用する力を養う。</li> </ul>
歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の平均正答率に対して本校の結果は3.9%下回った。短答や記述の問題でのつまづきが下回った大きな原因だった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料から読み取ったことをまとめる力を授業で多く行い、思考力や表現力の向上を図る。</li> <li>教師側からの知識の一方的な指導から問題解決的な学習へと授業改善を行い、児童の歴史学習への興味・関心を高める。</li> </ul>